

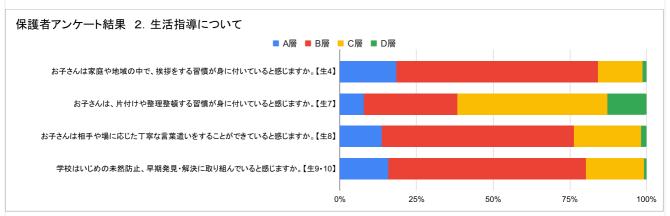
分かりやすい授業や語彙力の向上に関しては、9割以上が肯定的回答であるため、保護者の皆様にも校内で取り組んでいる研究の努力を感じていただていると嬉しいと思います。肯定的回答の割合は B層が中心のため、A層の割合が増加傾向になるように今後の研究活動を推進していきます。問題解決に関する項目については、教職員アンケートと児童アンケートでは肯定的回答が9割以上であるため、授業で学んだことが生活面や家庭からも表出されるように、今後も指導を続けていきます。また、今回のアンケートの実施期間が夏季休業前であったことから、アンケート回答後に自由研究などで家庭での伸びが見られた可能性があります。2学期のアンケート結果では、肯定的回答に伸びが期待されます。また、高学年においては家庭学習で自主学習をする学習スタイルが定着していくことも見込まれます。低・中学年では、児童が家庭で自主的に問題解決に取り組むような課題を出し、学校で学習したことが反映されている様子が家庭にも伝わるようにするなど、手だてを講じていきます。

25%

50%

75%

100%



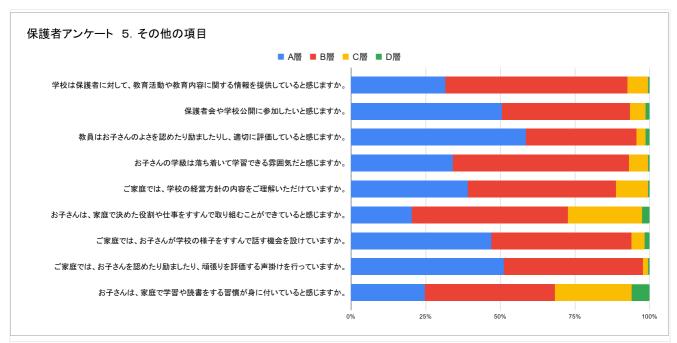
顕著な結果が表れた項目は「整理整頓」です。家庭ではもちろんのこと、学級でも継続した指導をしていますが、なかなか良い結果として表れていません。学校での手だてとしては、学級活動で教室環境を見直す機会を設けたり、教室内の動線や使用する道具を精選したりするなどの方策を学級担任を中心に引き続き実践していきます。あいさつ・言葉遣いは人間関係を構築するうえでの根幹となることですので、引き続き学校ではあいさつ運動や学級指導を継続していきます。また、いじめの未然防止や早期発見につきましては、校内委員会やスクールカウンセラーとも連携し、スピード感のある対応を心がけていきます。



・ 昨年度と同様の結果ですが、猛暑による熱中症対策もあり、十分に校庭遊びができなかったことが数値に影響した面もあると思います。2学期には体育 朝会で運動遊びを紹介するなどして、子供が楽しく体を動かす機会を増やしていきます。



肯定的回答が多く見られました。1学期は校歌の作詞について理解を深めるための全校集会を開きました。2学期以降は創立 50周年のときにつくられた歌を歌ったり、児童会活動において本校の創立に関係した内容を取り上げる集会を行ったりします。また、校舎外装の劣化箇所へのペンキ塗りや、屋上を憩いの場「スカイガーデン」にするための整備など、学校を綺麗にする活動も行い、引き続き児童が学校に興味・関心や愛着をもつことのできる行事を計画しております。11月のけやきアートフェスタにつきましても、周年行事と絡めた活動を計画しております。



「学校は保護者に対して、教育活動や教育内容に関する情報を提供していると感じますか。」の項目については肯定的回答が9割以上であるため、引き続き学校からはホームページや学校だより・学年だよりを通して情報を発信し、家庭との連携を深めていきます。家庭で決めた役割や仕事にすすんで取り組む姿勢につきましては、全体として肯定的回答が7割程度と低い値でしたが、データを細かく分析すると、高学年だけでは肯定的回答が8割を超えていることが分かりました。これは、高学年の児童は委員会活動やたてわり班活動などで責任を持って活動する場面が多く、その活躍が家庭にも生かされていることが考えられます。一方で低学年や中学年でポイントが低くなる原因が、そうした責任をもって活動する場面の少なさにあるとも言えます。学級活動において係活動や当番活動を見直し、自分たちの活動の成果を実感できるようにすることで、家庭でも実践する場が増えてくるのではないかと考えました。家庭でもすすんで役割を与えるとともに、温かい見守りをお願いします。また、読書習慣につきましては、図書委員が中心となって図書室の積極的利用を呼びかけていくとともに、読み聞かせ活動などで市立図書館と連携を取るなど、図書の時間を時間を有効に活用していくことで、より一層本に触れる機会を増やし、読書の秋に備えていきたいと思います。